

令和6年度学校評価の結果について

日頃より、本校の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

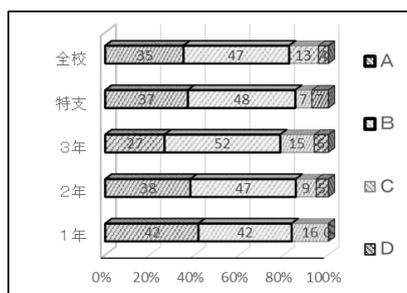
「学校評価アンケート」へのご協力、ありがとうございました。アンケート結果をまとめることにより、令和6年度の取組の成果と課題が明らかになってきました。この結果を基に、学校教育目標「二中文化を創造する生徒」の具現化を目指し、生徒・教職員一丸となって、より充実した教育活動を計画し、取り組んでいきたいと思っております。今後も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

\*【 】内の数値 (%) は項目に対して全校の「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合。【1学期→2学期】  
 △は数値の1%以上の上昇、▼は数値の1%以上の低下。グラフは2学期の回答結果。

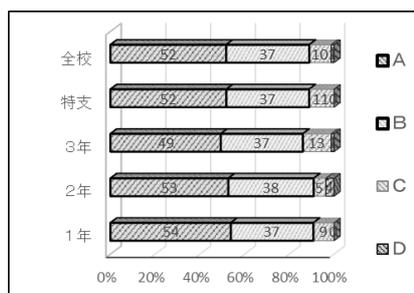
1. 学校教育目標「二中文化を創造する生徒」に関する成果と課題

【生徒】

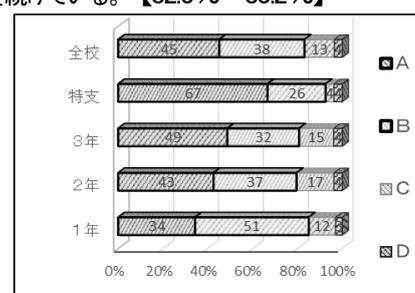
○「じかん・きれい・ことば」を意識して生活している。【81.5%→82.5%】△



○自分で進んで取り組める活動が、学校生活の中にある。【89.1%→88.9%】

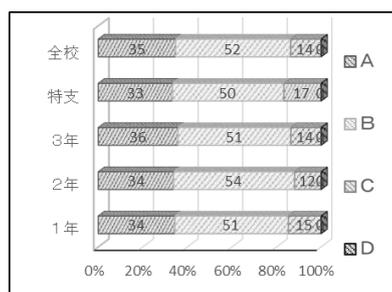


○富士山学習(福ろう製作所の活動)において、興味を持って調べたい課題を見付け、意欲的に追究を続けている。【82.3%→83.2%】

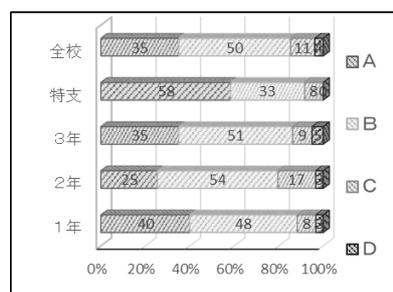


【保護者】

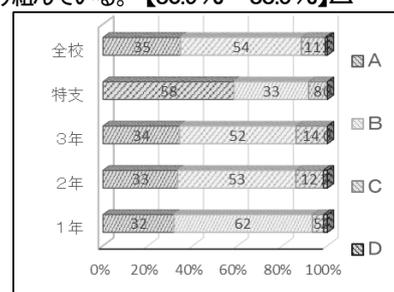
☆子どもは、時間を守ったり、あいさつをしたりすることができる【86.2%→86.4%】



☆学校は、こどもの個性を伸ばし、活躍できる場を与えている【81.8%→85.3%】△



☆子どもは、興味を持って調べたい課題を見付け、意欲的に富士山学習(福ろう製作所の活動)に取り組んでいる。【80.9%→88.5%】△



◎学校教育目標「二中文化を創造する生徒」に関する項目は、概ね肯定的回答が多いと考えます。

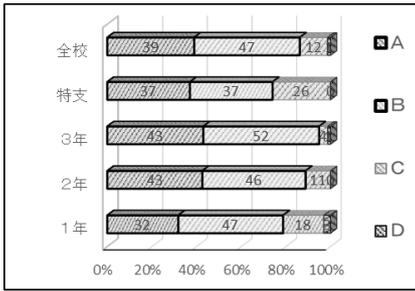
▲「そう思わない」「思わない」と考える回答にも目を向け、今後も努力をしていく必要があると考えます。

学校教育目標「二中文化を創造する生徒」に関する項目では、年間を通じて多くの肯定的回答をいただくことができました。生徒の「じかん・きれい・ことば」に対する意識は、生徒総会での発言にも表れていました。生徒会活動においても、二中文化を高めていこうと、委員長・副委員長が中心となり、積極的な取組が行われています。一方で、地域や保護者からは挨拶の声が小さく残念だとの声もあります。校内だけでなく、家庭や地域へも二中文化を発信していけるようにしていきたいと考えています。富士山学習や福ろう製作所の活動についても、その歴史の深さを感じながら意欲的に取り組む姿が感じられます。今後はより一層地域との連携を深め、地域に根ざした二中文化として発展を目指していきます。

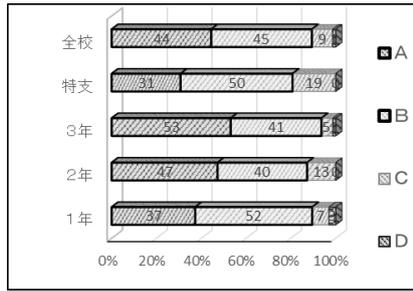
## 2. 「学びが深まる授業の創造」に関する成果と課題

### 【生徒】

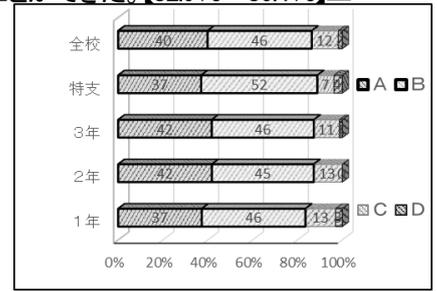
○授業に課題解決の見通しを持って、主体的に取り組んでいる。【86.2%→86.3%】



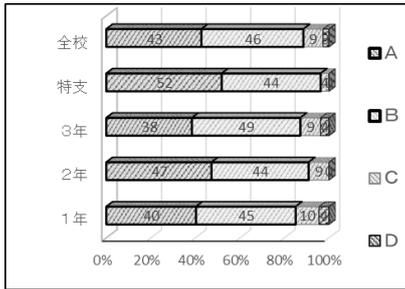
○学習の課題に向かって、みんなで学び合って学習を進めている。【90.4%→89.4%】▼



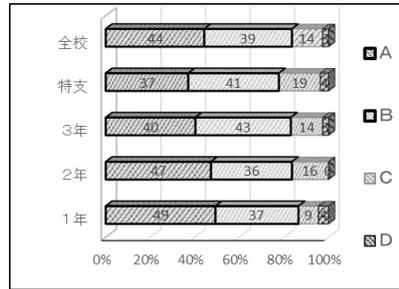
○授業で、自分の考えを持って仲間と比較検討することを通して、課題を解決することができた。【82.9%→86.4%】△



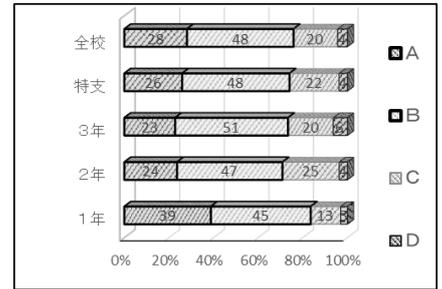
○授業で、分かったことをまとめ、学びを振り返ったことで、学びを深めることができた。【86.0%→88.5%】△



○宿題や自主学習に取り組むときに、授業で学習したことを思い出したり、生かしたりしながら取り組んでいる。【84.7%→83.6%】▼

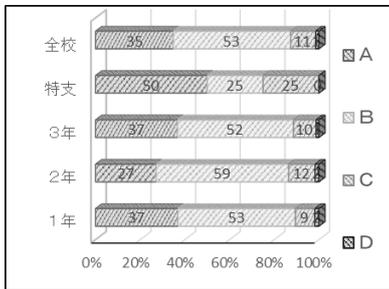


○SDGsの項目に関心を持ち、意識して生活している。【74.0%→75.9%】△

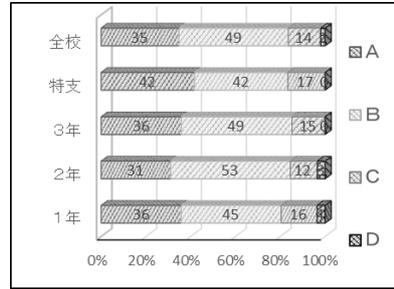


### 【保護者】

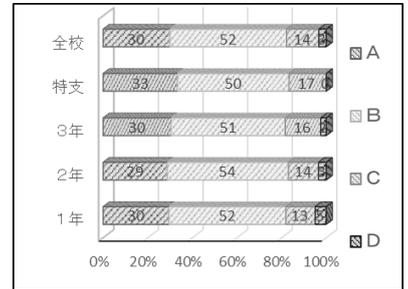
☆子どもは、目標に向かって学び合う授業に元気で取り組んでいると言っている。【85.8%→87.4%】△



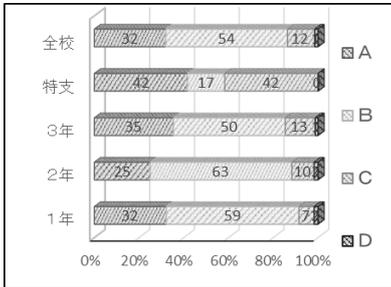
☆子どもは、学校の授業で「仲間と意見を伝え合う場面がある」と言っている。【83.4%→83.6%】



☆子どもは、家庭学習(宿題や自主学習)において、授業で学習したことを生かして予習や復習に取り組んでいる。【83.0%→82.2%】



☆子どもは、SDGsの項目に関心を持ち、意識して生活している。【82.1%→86.4%】△



◎「学びが深まる授業の創造」の授業に関する項目について、概ね肯定的な評価を得られていると考えます。

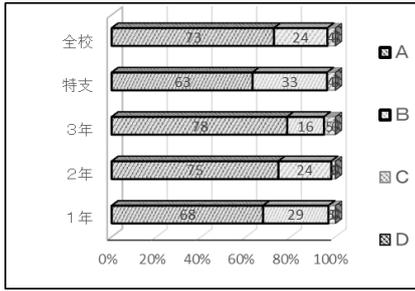
▲家庭学習やSDGsへの関心について継続的・発展的な取組に改善点や課題があると考えます。

「学びが深まる授業の創造」の授業に関する項目について、全体として概ね肯定的な回答を得ています。しかし、1学期と比較すると数値が低下している項目もあるため、この先も努力していきます。「家庭学習」に関する項目については、高い水準を示しているものの数値的な低下も見られます。1月に行われた「学び方集会」では、授業ノートとともに家庭学習に工夫をしている生徒からの紹介もあったため、授業と家庭学習の両輪で生徒が主体的に学びを深めていける機会を今後も設けていきたいと考えています。SDGsについての項目では、保護者の回答よりも、生徒の回答の数値が低くなっています。こちらも生徒会活動を中心として、幅広い視野で世の中を考えられるようにしていきたいと考えています。

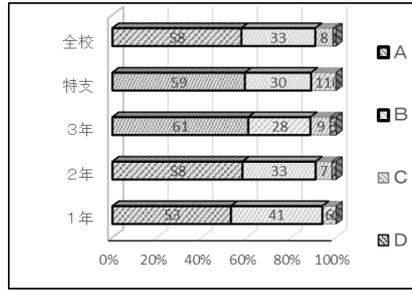
### 3. 「認め合える学級の創造」に関する成果と課題

#### 【生徒】

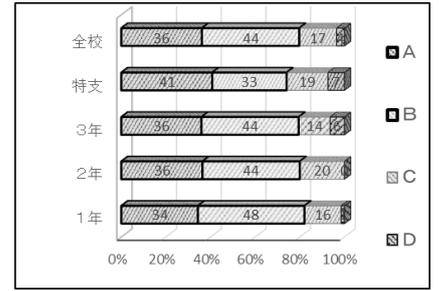
○学校生活(行事含む)で、仲間と協力しながら、自分の役割(係の仕事等)を果たすことができた。【93.2%→96.5%】△



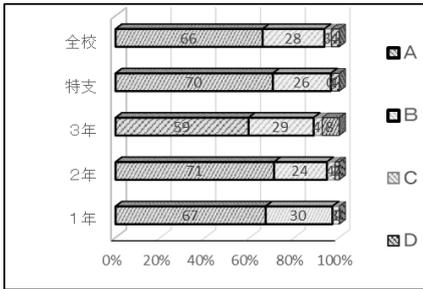
○先生は、自分に合わせた指導をしてくれるので、安心して学校生活を送れる。【89.6%→90.7%】△



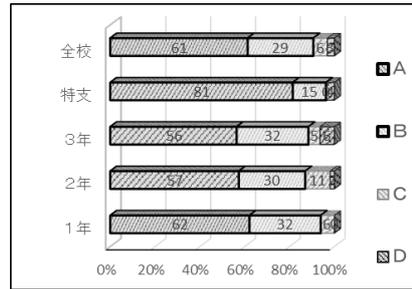
○私は、積極的に友達の良さを見付け、それを伝えることができる。【77.6%→79.7%】△



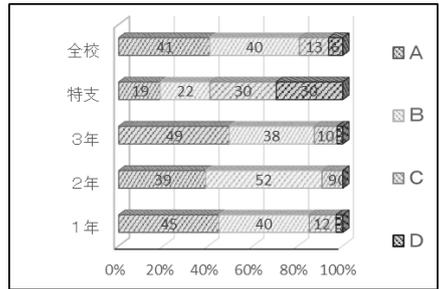
○先生は、私の話をよく聞いてくれる。【89.6%→93.4%】△



○いじめや悩み、困ったことがあると、先生はすぐに対応してくれる。【90.4%→90.7%】△

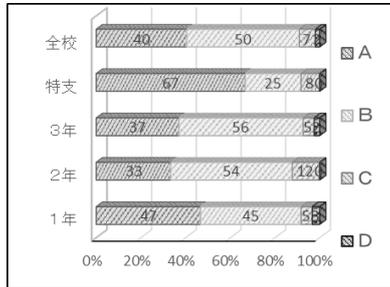


○私は、情報メディア(携帯電話、インターネット、ゲーム機器等)を正しく活用できる。【90.4%→83.3%】▼

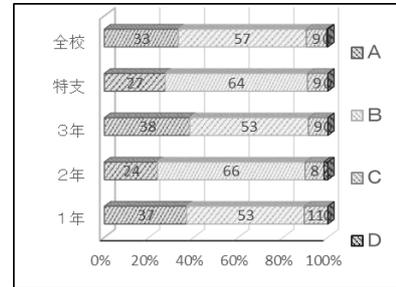


#### 【保護者】

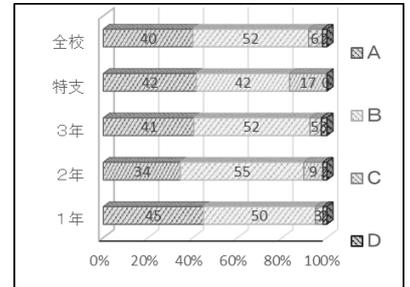
☆学校は、こどもの特性に応じた支援に全校体制で取り組んでいる。【84.9%→91.0%】△



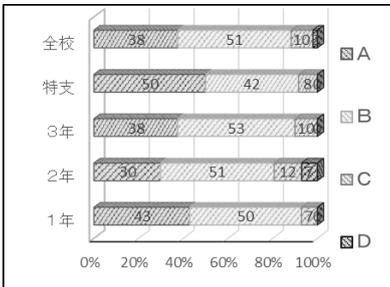
☆学校の「いじめ防止基本方針」について理解している。【88.9%→90.4%】△



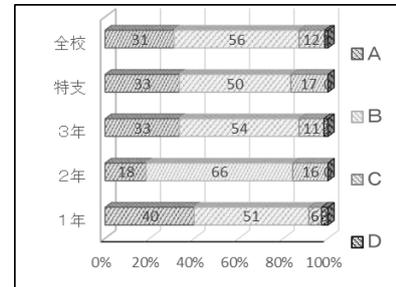
☆学校は、登校渋滞やいじめの兆候のあるときには迅速に対応し、誰もが生き生きと生活できる集団づくりに取り組んでいる。【89.1%→91.8%】△



☆学校は、誰に対しても思いやりや気遣いのある行動がとれるよう指導している。【84.1%→88.3%】△



☆学校は、子どもにメディアの正しい使い方を指導している。【82.2%→87.1%】△



◎「認め合える学級の創造」に関する項目について、生徒、保護者ともに肯定的回答を得られていると考えます。

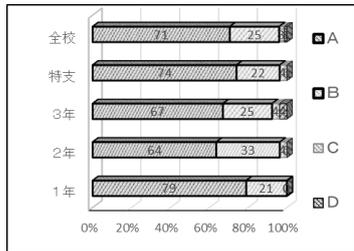
▲生徒の「メディアの活用」で、数値の低下が見られます。結果を真摯にとらえ、必要な手立てを考えていきます。

「認め合える学級の創造」に関する項目全体で、多くの生徒・保護者から、概ね肯定的な評価をいただけていると考えます。学級担任を中心に、日常的な生徒の見守りや欠席時の電話連絡等で、一人一人を大切にすることができている成果であると考えます。この結果に満足することなく、今後も丁寧な関わりを継続していきます。「メディアの活用」に関する項目では、保護者からは肯定的な回答を得られた一方で、生徒の回答数値は低下してしまいました。ただ、この結果は生徒が自身とメディアの関わり方を厳しく捉え直した結果とも考えられます。生徒にとって、メディアと関わる機会はこれからますます増えるとは思いますが、トラブルの温床にもなりかねません。現在も「メディア教育講演会」等にも取り組んでいますが、今後も引き続き、正しい関わり方の啓発に努めていきます。

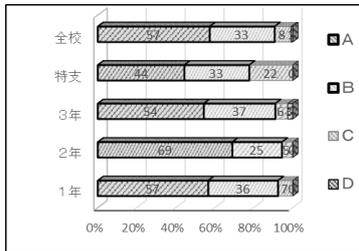
## 4. 「共に高め合う学校の創造」に関する成果と課題

### 【生徒】

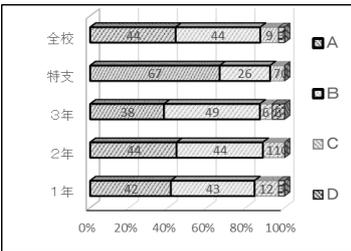
○先生は、自分たちに学習面や生活面について、きちんと教えてくれる。【95.6%→96.1%】



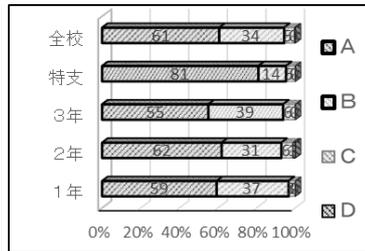
○あいさつ、きまりなど学校、家庭・地域で学んだことを様々な場所で生かしている。【89.2%→90.8%】△



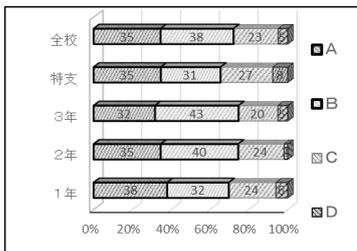
○授業や教育の日などで地域の人のお話を聞いたり、いっしょに学んだりすることとおして、学びを深めている。【80.3%→87.6%】△



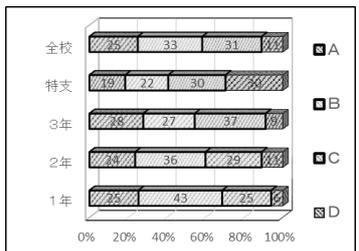
○道徳の時間(特別の教科 道徳)は自分の生活を振り返ったり、生き方を考えたりする良い機会となっている。【91.1%→89.8%】▼



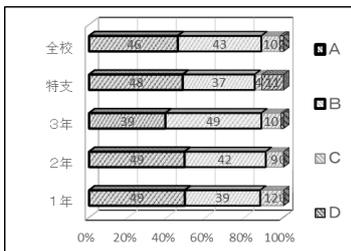
○食事の大切さを理解し、三色そろった食事をとっている。【70.0%→72.1%】△



○私は、朝読書の時間や読書3デーの日を意識し、読書に親しんでいる。【62.4%→58.3%】▼

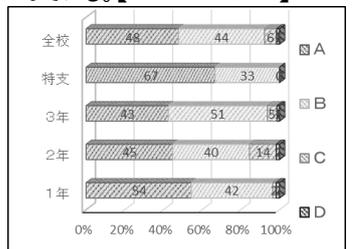


○私は、自ら進んで黙働清掃に取り組んでいる。【89.1%→88.6%】▼

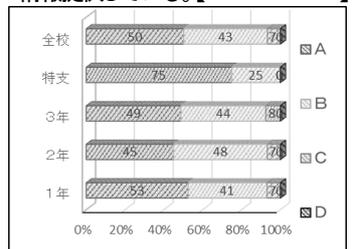


### 【保護者】

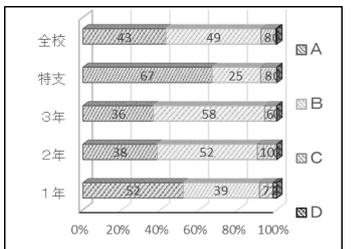
☆学校(先生方)は、学校経営ビジョン(グランドデザイン)を明確に示し、子どもたちのために一生懸命取り組んでいる。【91.3%→92.3%】△



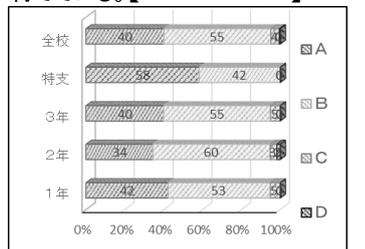
☆学校は、学校だよりや学校HP、参加会や「教育の日」の実施などにより、教育活動の様子について適切に情報提供している。【93.0%→93.4%】△



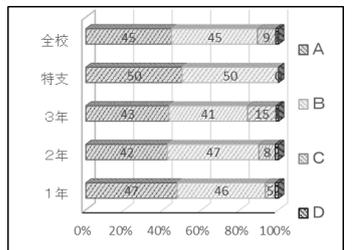
☆学校は、保護者や地域の意見を大切にしている。【89.3%→91.8%】△



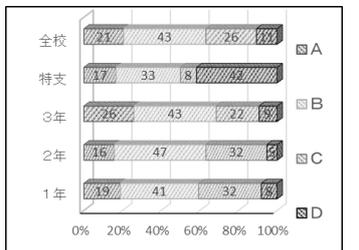
☆学校は、学校生活全体をとおして、こどもに生命を大切にすの心や社会のルールを守る態度などの道徳性を育てている。【87.9%→95.2%】△



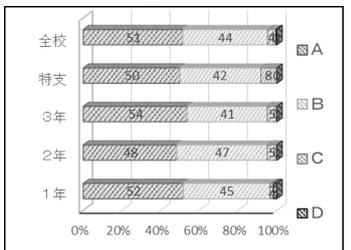
☆学校は、給食等をとおして、こどもの健康を考えた栄養のバランスや食事のとり方を指導している。【90.2%→89.1%】▼



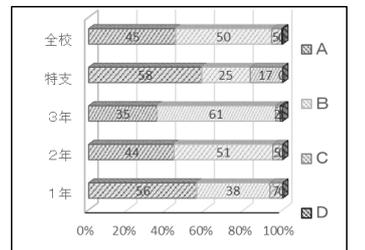
☆こどもは、朝読書の時間や読書3デーの日を意識し、読書に親しんでいる。【64.7%→63.1%】▼



☆事故、怪け、災害、不審者対応など、万が一の時に学校や保護者がとるべき対応について学校から説明を受け、理解している。【90.1%→95.2%】△



☆学校は、必要に応じた電話連絡や家庭訪問等により、家庭と連携を図っている。【88.5%→94.4%】△



◎「共に高め合う学校の創造」に関する項目では、多くの項目で概ね肯定的な評価を得られていると考えます。

▲特に「食育」「読書」に関する取組について、改善や啓発のための努力が必要だと感じています。

「共に高め合う学校の創造」に関する項目では、本校で行っている様々な教育活動について肯定的な評価をいただいていると考えます。「食育」に関する項目では、生徒と保護者の評価に差が見られました。学校での「食」の意識向上に向けた取組として「オリジナル朝食コンクール」や「わくわくランチタイム」、「地食健身食育事業」があります。「読書」に関する項目も、十分満足いく結果とは言えません。読書に親しみを持てるように、学校では、朝読書やモーニングライブラリ、読書3デーなど読書に取り組む時間を設定するとともに、今年度は希翔祭文化の部でビブリオバトルにも取り組みました。これらの取組について、家庭でも話題にさせていただいたり、お子様と一緒に取り組んでいただいたりすることが、子どもたちのさらなる成長につながるのではないかと思います。今後も学校から情報を発信していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。